

プロジェクト成功の要、要件定義を速習！



失敗しない 要件定義実践

- ✓ プロジェクト成功までのノウハウを学ぶ
- ✓ 要件定義を実務レベルで身に付ける
- ✓ 要求分析スキルまで1dayで速習！

開催概要

‘19. **10/11** (金)
9:30～18:30

【受講料】 **45,000円**
(税別)

【取得PDU】 **8PDU**

【対象者】

- ・ 上流工程の実務に携わる方
- ・ プロジェクトマネージャ、プロジェクトリーダー、それらを目指す方

【場所】 アイテック教育事業本部

(泉岳寺駅から徒歩1分)

【定員】 16名



知識豊富で、
話がわかりやすいと
受講生から大人気！
実務アドバイスに定評

担当講師
庄司 敏浩

国内のソフトウェア開発プロジェクトの成功率は約50%と
なっています。
プロジェクトを成功させるために重要となるのが要件定義。
本講座では、顧客から要求を引き出す方法などを、講義と実践
的なワークショップで学びます。上流工程を成功させたいソフト
ウェア開発者にオススメの講座です。
多数のプロジェクトマネジメントの経験から、プロジェクトを
成功に導くための要件定義のノウハウをぎゅっとまとめて伝授
します。
たった1日でプロジェクト成功率を向上させましょう！

『失敗しない 要件定義実践』

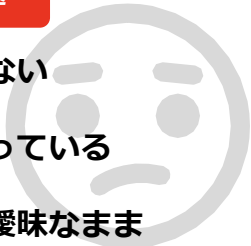


CHECK

要件定義のステップを整理し、
実務で使えるレベルのノウハウが1日で身に付きます！

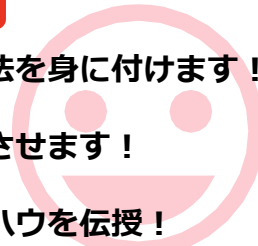
想定する課題

- 顧客の要件が引き出せない
- 要件定義に時間がかかっている
- 要件定義の実施範囲が曖昧なまま



期待される効果

- 顧客から要件を引き出す方法を身に付けます！
- ステップを整理し、効率化させます！
- 何をしたらいいのか、ノウハウを伝授！



職種	・ 上流工程の実務関係者 ・ プロジェクトマネージャ、リーダー	受講対象	・ すべての実務担当者 ・ これから実務に関わる方
-----------	------------------------------------	-------------	------------------------------

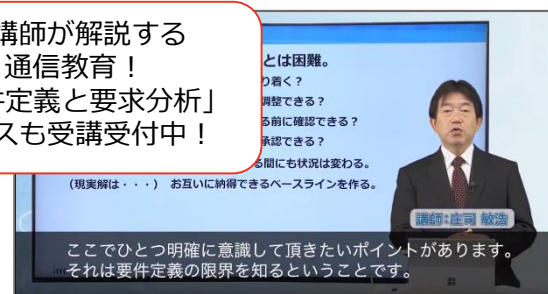
開催概要	
開催日	2019年10月11日（金）
時間	9時30分～18時30分
主催	株式会社アイテック
取得PDU	8PDU（テクニカル：8PDU）
受講費用	45,000円（税別）/人
持ち物	筆記用具 （演習課題、レジュメを当日配布いたします。）

カリキュラム	
オリエンテーション	
1.	要件定義の位置付けとポイント
2.	要求の引き出しと体系化 （演習）要求の引き出しと体系化
3.	要求の検証と妥当性確認 （演習）要求の研修 （演習）要求の妥当性確認
4.	要件定義書作成のポイント

会場

株式会社アイテック 教育事業本部
〒108-0074 東京都港区高輪2-18-10
高輪泉岳寺駅前ビル4階
＜アクセス＞
都営浅草線・京急線「泉岳寺駅」
A3出口（三田寄り）から徒歩1分
※ガソリンスタンドのあるビルの4Fです。

同講師が解説する
通信教育！
「要件定義と要求分析」
コースも受講受付中！



お見積りのご依頼はこちら

法人問い合わせ窓口
<https://www.itec.co.jp/inquiry>



講座詳細・Webからの申込はこちら

https://www.itec.co.jp/store/products/detail.php?product_id=3307



※クレジット払い、コンビニ払いに対応
※法人会員登録で銀行振込に対応いたします

1. 受講票はございません。お申し込みの際に受講受付のメールを送付いたします。（会場にて、出席確認をさせていただいております。）
2. 欠席された際、配布資料がある場合で、お渡しする必要のあるものについては、ご登録のメールアドレス宛に送付させていただきます。郵送は致しませんのであらかじめご了承ください。
3. 学習項目および担当講師は都合により変更となる場合がございます。
4. お客様のご都合で講座を欠席された場合は、受講料の払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承ください。
5. お客様の都合で、各講座後にご記入いただく、アンケートとの交換になります。途中参加や半日の参加など、指定の時間数のご受講がない場合は、原則、PDUの証明書類の発行ができません。
6. 下記の理由により講座開催を中止させていただく場合がございます。中止の場合には、決定後速やかに、その旨をご連絡いたします。講座中止の場合、受講料に限り全額返金いたします。
 - お申込み人数が所定の最小催行人数に満たない場合（開催日の約2週間前にお知らせいたします。）
 - 災害や、天候の悪化などにより安全に講座を提供できない状況が予測される場合
 - 講師の急病などやむを得ない場合で講座を中止する場合